

# 「病院や児童福祉施設にいる子どもの QOL向上のためのあそびワークショップ体験」

治療優先で生活が制限されている長期入院の子どもや、親から虐待を受けたり何らかの事情があって閉ざされた空間で暮らさざるをえない児童相談所や児童養護施設の子どもの対象に、人とふれあってワクワクした楽しい時間を過ごすという、子どもの今と子ども時代のQOL向上をはかり、安心して仲間と一緒にあそび声を出して笑ったり、夢中になってものづくりをして一緒にあそび交流する体験を届ける。

## 報告書



主催：特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-7-16 サンコート新千葉 102 号

TEL：043-301-7262 FAX：043-301-7263

Email:kidchiba@lily.ocn.ne.jp URL <http://chiba.gekijou.org/>



後援：千葉県 千葉市 千葉県教育委員会 千葉県医師会 千葉県小児科医会



ワーク実施一覧 1-8

	実施施設	プログラム・指導者	日程・場所	協力者	子ども	大人	参加総数	子ども・大人の内訳
1	千葉県千葉 リハビリテー ションセンタ ー	「♪ToyBoxサマー コンサート♪～音楽とあ そぼう～」 梅田えり奈 石井真理子 橋本友季恵 丸山泰明	7月25日(木) 9:55～11:30 病室訪問 大ホール	4	142	62	204	(病室訪問 40人) 子ども 30人(小 学9 中学・高校以上 21) 大人 10 人(保護者 4 病院関係者 6) (大ホール 164人) 子ども 112人 (乳幼児 27 小学 31 中学 8 高 校以上 55) 大人 52(保護者 15 人病院関係者 37人(看護師 4 保育 士 介護士その他 33))
2	成田赤十字 病院	「夏のおはなし会・わくわ く工作」 飯野真子 新井恵美子 高橋裕美 広瀬節子	7月25日(木) 10:00～11:30 クリーンルーム	4	3	7	10	幼児 2人 中学生 1人 保護者 4人 病院関係者 3人(看護 師 1人 保育士 1人 職員 1人)
3	下志津病院	「いろいろ工作 いっ しょに作ろう!」 加川きみ子 梶原瑠璃子 柳野郁美 北野美子	7月25日(木) 14:30～15:30 プレイルーム	4	6	4	10	子ども 6人(小学生 5 中学生 1) 保護者 1人 病院関係者 3人(看護 師 1 保育士 2)
4	千葉県こども 病院	「わくわく★ワンダーラ ンド」 大塚るい 長谷川詠香 堀米良子 大越舞美	7月26日(金) 10:30～12:00 図書コーナー	4	28	16	44	子ども 28人(幼児 8人 児童 20人) 保護者 14人 病院関係者 2人
5	千葉東病院	「おはなしであそぼ!」 大崎あけみ 石澤和子 清水百世 鈴木佳子	8月2日(金) 15:00～16:00 プレイルーム	4	7	17	24	幼児 2人 小学生 5人 保護者 5人 病院関係者 12人(看護 師 3 保育士 2 実習生 7)
6	千葉市立海浜 病院	「おはなしつくって あそぼ!」 大崎あけみ 清水百代 石澤和子 鈴木佳子	8月19日(月) 10:20～11:45 プレイルーム 病室訪問	4	17	17	34	子ども 10人(乳児 1 幼児 4 小学 5) 保護者 8人 病院関係者 2人(保育 士 2) (病室訪問 14人) 子ども 7人(幼児 6 小学生 1) 保護者 6人 病院関係者 1人(保育 士 1)
7	千葉大学医学 部附属病院	「わくわく工作 つくっ てあそぼう!」 加川きみ子 北野美子 柳野郁美 市川淑江	8月22日(木) 9:50～11:30 クリーンルーム プレイルーム	4	10	10	20	子ども 10人(幼児 5 小学 4 高校 以上 1) 保護者 8人 病院関係者 2人(保育 士 2)
8	国府台病院	「世界でひとつの万華鏡 を作ろう!」 濱 美幸 井澤智子 竹見麻衣子 早川良美	11月19日(火) 10:00～11:30 院内学級小学校	4	6	7	13	子ども 6人(5年生 1人 6年生 5人) 病院関係者 7(小学校教諭 2人、ド クター 1 看護師 1 中学校教諭 3)



ワーク実施一覧 9-16

	実施施設	プログラム・指導者	日程・場所	協力者	子ども	大人	参加総数	子ども・大人の内訳
9	千葉県市川児童相談所	「ダンスワークショップ」 安西真幸 安西千紗 中川香子 棚田純子	7月12日(金) 10:30~11:30 講堂	4	30	6	36	子ども 30人 (幼児9 小学生12 中学生9) 施設職員 6人
10	千葉県君津児童相談所	「体をつかっていっしょにあそぼう」 大潤弘幸 村井昌世 鈴木佳子 岡田泰子	7月25日(木) 13:30~14:30 会議室	4	18	13	31	子ども 18人 (幼児4 小学7 中学7) 大人 13人 (施設関係者 7・保育士 3 職員 3)
11	千葉県銚子児童相談所	「アフリカンリズム&パーカッションワークショップ」 BBモフラン ダウディ 典子 鈴木佳子	7月26日(金) 10:30~11:30 2F 大会議室	4	19	12	31	子ども 19人 (幼児7 小学生7 中学生4 高校生1) 施設職員 12人 (保育士 3 心理士 2 福祉士 2 事務 2 その他 3)
12	千葉市児童相談所	「アフリカンリズム&パーカッションワークショップ」 BBモフラン ダウディ 典子 椎名好子	8月13日(火) 10:30~11:30 スポーツ広場	4	32	10	42	子ども 32人 (幼児15 小学生7 中学生10) 施設関係者 10人
13	千葉県柏児童相談所	「アフリカンリズム&パーカッションワークショップ」 BBモフラン ダウディ 典子 棚田純子	8月16日(金) 13:30~15:00 食堂	4	41	14	55	子ども 41人 (幼児14 小学生20 中学生以上7) 施設関係者 14人
14	千葉県東上総児童相談所	「ダンスワークショップ」 安西真幸 安西千紗 中川香子 棚田純子	8月20日(火) 13:30~15:00 多目的室	4	24	10	34	子ども 24人 (幼児9 小学生12 中学生1 高校生2) 大人 10人 (保育士 3 施設職員 7)
15	房総双葉学園	「夏休みだよ! みんなでいっしょにあそぼう!」 大潤弘幸 村井昌世 綿貫のばら 中川香子	8月27日(火) 13:00~14:30 地域交流ホール	4	12	4	16	子ども 12人 (幼児3 小学生9) 施設関係者 4人 (保育士 1 児童指導員 3)
16	千葉県中央児童相談所	「見たこともない生き物をつくろう!」 永野むつみ 大沢直 買場都明 宇野京子	9月20日(金) 10:00~11:30 集団治療室	4	31	3	34	子ども 31人 (小学生20 中学生10 高校生1) 教師 3人
	合計 1~16	指導者 64		64	426	212	638	



## ① 千葉県千葉リハビリテーションセンター「♪ToyBox サマコンサート♪～音楽で遊ぼう～」

日時：2019年7月25日（木）9：55～11：30

場所：病室訪問 大ホール

参加者 204人

（子ども142人 保護者19人 病院関係者43人）

指導者：梅田えり奈 石井真理子 橋本友希恵 丸山泰明

**ワークショップの内容** チェロ、ピアノ、フルート、ピッコロ、オカリナ、ボイスパーカッションの演奏と歌で遊ぶ（情熱大陸 エヴァンゲリオンテーマ ミッキーマウスマーチ アラジンメドレー おもちのチャチャチャ ダ・パンプの「USA」となりのトトロ等）



チェロを病室の中央に置いて演奏。ピアノカ、フルート、まるで病室がコンサート会場になった。音楽が聞こえたら表情が変わり、足を震わせた。目をきょろきょろさせて音を探しているような子もいた。大ホールには、チケットを手に集まった。「情熱大陸」の演奏が始まると「ピアノすごいね！」の音が聞こえた。「USA」では、キラキラのイルミネーションの演出にすかさず部屋のライトを消し、楽器を手にディスコ風にノリノリになって、拍手や体を揺らしていた。



### 保護者からの声

- ・いつもは、鳴子を無理に握らせて一緒に振ったりしているが、今日は自分から握って動かしていた。みんなが歌うのを聞いて楽しい会をありがとう。
- ・知っている歌がたくさんあってよかった。自分もリラクゼーションになった。素敵だった。



### 施設関係者からの声

限られた空間の中で、限られた職員と一緒に生活を送ることが多く、なかなかQOLをあげたくても、施設的环境や職員だけでは限界がある。このような事業があることで、外部からの刺激や人的環境が1人ひとりに与える影響はとて大きいと感じている。また、職員にもいい影響がみられ、いい支援につながる機会であり、体験であり、考えさせられる場面であると思っている。

## ② 成田赤十字病院「夏のおはなし会・わくわく工作」

日時：2019年7月25日（木）10：00～11：30

場所：クリーンルーム廊下

参加者 10人

（子ども3人 保護者4人 病院関係者3人）

指導者：飯野真子 新井恵美子 高橋裕美 広瀬節子

### ワークショップの内容

#### 【お話し会】

「おおきなおおきなきいろいひまわり」「にんじん だいこん ごぼう」「ひもかとおもったら・・・」

#### 【工作】

・さかさま万華鏡

・パズルサイコロ



### 子どもの声

- ・読み聞かせに工作、楽しかったです。

当日不在や病室外に出られる子が少なく、お母さんと二人だけだったのでちょっと淋しい感じだったが、絵本のひまわりの花びらが一枚ずつ開かれるとじーと見入り最後に一気に花が閉じるとびっくりしていた。工作好きな子だったので、始めると目をキラキラさせてシールを選んだり、好きな色のマジックを選んだり楽しんでいた。室病室訪問はエプロンシアター。中学生の子がとてノリノリで楽しそうだった。講師や親にたくさん話しかけ大喜び。2歳の子はごろんと転がっておとなしくじーっと見てた。ごぼうの人形が気に入ったようだった。

### 保護者からの声

- ・薬のせいで機嫌が悪く残念だったが、ママは楽しめた。
- ・わざわざ病室まで来てくださったし、本当にありがたかった。お見舞いも来られず、時間を持て余してしまいがちなので、こういう活動は入院中の子どもたちにとってとても励みになっていると思う。またぜひお願いしたい。

### 病院関係者からの声

- ・対象患者が少なく個別に対応で、児や保護者の反応に合わせて進めて下さりありがたかった。日常に変化を感じられた。長期入院の子どもたちにとって、治療だけでなく、楽しい思い出や工作などの新たな挑戦など、楽しみいっぱいの企画だと思う。
- ・子どもだけでなく、大人も興味を持てた。親御さんにとっても良い息抜きになったと思う。当たり前の日常に変化をあたえることにより笑顔、会話が增えることで前向きに生活してくれると思った。とても素晴らしいことだと思う。



### ③ 国立病院機構下志津病院 「いろいろ工作 いっしょに作ろう！」

日時：2019年7月25日（木）14：30～15：30  
 場所：プレイルーム  
 参加者 10人  
 （子ども6人 保護者1人 病院関係者3人）  
 指導者：加川きみ子 北野美子 梶原留理子 椰野郁美

ワークショップの内容  
 花かご  
 帽子のストラップ  
 ウイングバード  
 ふしぎな UFO



子ども達が「来たー」と言って迎えてくれ、今日を楽しみにしていた気持ちがよく伝わった。女の子達とお母さんへのプレゼントにするという男の子は帽子のストラップを、男の子のもう一人は「もう決まっている。」と不思議なUFOを先に始めた。帽子は、布を1cmの縫代部分をはさみで放射状に切る作業が難しく、手間がかかったが、最後までしっかりやり遂げた。布に円を描く所も右手、左手を持ち替え、半円ずつ描くなど工夫した。帽子を作っていた一年生の女の子が「楽しい、楽しい。」と言いながら笑顔。切り込みの部分も「わかる。」と周りを見ながら自分でやる意志、意欲の高さに驚かされた。UFOを作った子は、自分のイメージを広げ、飾りのヒラヒラに銀シールも貼り「クラゲみたい」と楽しそうに工作していた。できたらクルクルと上手に回していた。



#### 子どもの声

- ・久々に手芸をやって楽しかった。バックにつけたいなと思った。作れて良かった。
- ・ふしぎなUFOを作った。作る時、ちょっとむずかしかったけど、うまくできた。

#### 病院関係者の声

- ・はじまる前から、ポスターを見て、「何作ろう？あ～、これも作りたいけどあれもいい！迷う！」と子どもの口から出るくらい、楽しみにしていたようで、完成品にも興味津々の様子だった。
- ・材料も豊富でいくつかの物の中から選んで作ることに、とても興味をそそられて、意欲的に取り組んでいた。時間のたつのがあっという間だったという会話も聞かれ、それだけ楽しく夢中になれたということを感じた。

### ④ 千葉県こども病院 「わくわく★ワンダーランド」

日時：2019年7月26日（金）10：30～12：00  
 場所：1Fロビー図書コーナー  
 参加者 44人  
 （子ども28人 保護者14人 病院関係者2人）  
 指導者：（大塚るい 長谷川詠香 大越舞美 堀米良子）

ワークショップの内容  
 スポンジケーキ  
 ドリームキャッチャー  
 さかなつり CDのこま  
 どうぶつ折り紙



通院の子どもたちが次々ときて遊んでいった。家庭にもありそうな材料に少し手を加えたり、新しい使い方をして制作できるものばかりで、色々な素材、色もカラフルで、「楽しかった！」との感想が多かった。時間のかかるものと簡単にできるものがあり、子どもは選んでいくつも作り、達成感を感じたようだ。

#### 子どもの声

- ・たのしかった～さお（釣りの）をもらってうれしかった～いえ～い！家でもつりする～
- ・アイデアがあって友達におしえていっしょにできるのがたくさんありおもしろかった
- ・ケーキのいろんなかざりとか、こまとかいろんなものがあったてすごかった
- ・とてもかんたんだったから家でやりたい。家にあるものでできるからすごい
- ・ビーズがとれて落ちることがないようにしてくれたのがいいな
- ・づくりすると、使うときにほっこりすることができるから好き
- ・かわいくできてうれしかった。またやりたい。

#### 保護者の声

- ・子どもが楽しく工作して、私も嬉しくなった。
- ・苦手な検査前にいい気分転換になった。
- ・昨年体験し、またできたらいいねと子どもと話していたので、やれてよかった。
- ・大がかりな歯の治療で大泣きし気持ちが沈んでいたが、工作して元気になった。
- ・弟の付き添いできた姉が楽しめてよかった
- ・すてきなコマ、ケーキ、初クスを作れてラッキー。年長にぴったりの工作でよかった。



#### 病院関係者からの声

- ・病院広報用の写真を撮影したり「きれいなのができてますね」「おさかなつれたかな？」など笑顔で話していた。スタッフには「11時頃人数がピークになりますよ」「皆さん指導が上手で、保育士さん？」と親しく話しかけていた。

## ⑤ 国立病院機構 千葉東病院 「おはなしであそぼ！」

日時：2019年8月2日（金）15:00～16:00

場所：プレイルーム

参加者 24人

（子ども7人 保護者5人 病院関係者12人）

指導者：（大崎あけみ 石澤和子 清水百世 鈴木佳子）

### ワークショップの内容

読み聞かせ：「どうぶつサーカスが始まるよ」  
「ねずみ長者」

工作：ふうとうかみしばい・ぱたぱたえほん  
・おりがみどうぶつ



### 子どもの声

- ・たのしかった♡またやりたい♡
- ・今日はとっても楽しかった。かみしばいが自分で作れるなんて思わなかった。
- ・本や紙芝居がとても上手でびっくり。予想以上に楽しかった。

看護師のあいさつ「これから1時間楽しんでね」に「なが〜い！」と即座に言った女の子が最後は「時間が足りな〜い！」と言いつつ、作った封筒紙芝居を友だちや実習生の前でできばきとやってみせて、「ストーリーも作ったんだね」「きれいだね」とほめられ嬉しそう。参加型の絵本で声を出したり、紙芝居にだんだん前のめりになって見入っていた。「楽しそうだからマスターしたい！」とお母さんも意欲的だった。

### 病院関係者からの声

- ・子ども、保育者共に楽しそうだった。みんな一生懸命に取り組んでいた。
- ・普段味わうことのできない体験に親子共々喜んでいいる様子が伺えた。当初は緊張気味の子どもたちも遊びを通してリラックスしている表情がみられた。
- ・楽しいひとときを過ごすことができ良かった。気分転換することができたと思う。

### 保護者からの声

- ・3歳の息子が楽しかったと言っていた。皆と創作できて嬉しかったようだ。貴重な時間をありがとうございました。
- ・絵本やシール遊びが大好きなので楽しめた。

## ⑥ 千葉市立海浜病院 「おはなしつくってあそぼ！」

日時：2019年8月19日（月）10:20～11:45

場所：プレイルーム 病室訪問

参加者 34人

（子ども17人 保護者14人 病院関係者3人）

指導者：大崎あけみ 石澤和子 清水百世 鈴木佳子

### ワークショップの内容

・読み聞かせ「動物のサーカス」 かみしばい「ごきげんの悪いコックさん」

・工作 ふうとうかみしばい 六角返し どうぶつ折り紙



動物たちが芸をし、空中ブランコのぶたさんが「おかあさん！」と叫ぶシーンで笑顔と大きな拍手で一気に気持ちがなごんだ。工作は、かわいいシール、かっこいいシール、きれいなマスキングテープなどに触発されてそれぞれ自由に作品を作った。「どうぶつえんぐイズです！」と紙しばいをみせてくれた子、大きな木にセミをとまらせた子もいた。満足感が顔に出ている。「きょうはね、〇〇ちゃんにおはなしをしにきましたよ」と、病室訪問。保護者もうれしそう。



### 子どもの声

- ・ミニ紙しばいをつくるのがとても楽しかった。「じょうずね！」とほめてもらってうれしかった。
- ・六角形のもおもしろい作品にしちゃいま〜す。・読み聞かせも久しぶりに聞いて楽しかった。

### 保護者の声

- ・読み聞かせも紙芝居も温かいお話でおもしろかった。工作もシールやペンなどが豊富にあり夢中になって作っていた。
- ・入院中は暇で退屈で、ベッドにいるだけなので、親子共に気分転換ができた。
- ・少しでもこういう入院を忘れるような時間があると嬉しい。
- ・病室まで来ていただいて、子どももとても喜んでいました。心遣いありがとうございます。

### 施設関係者からの声

- ・最初は遠慮がちだった子どもも、工作は大好きなものを自由に自分の作りたいように作り始め、笑顔が増していった。
- ・普段ベッドの上での生活が続く、場を変えて気分転換になった。
- ・紙芝居や工作は年齢に応じてイメージの仕方や、クオリティーの高さに違いがあった。年齢を問わず自分のイメージしたものをやりたいように表現できる活動で良かったと思う。

## ⑦ 千葉大学医学部附属病院「わくわく工作 つくってあそぼう！」

日時：2019年8月22日(木) 9:50~11:30

場所：クリーンルーム プレールーム

参加者 20人

(子ども10人 保護者8人 病院関係者2人)

指導者：加川きみこ 北野美子 椰野郁美 市川淑江

### ワークショップの内容

花かご 帽子のストラップ ウイングバード  
ふしぎな UFO



UFO を作るんだと思ってわくわくと準備中に来ていた。病室を出たくないと言ってた子がウイングバードに興味を持ち作り、プロペラも2個作って時間ぎりぎりまで飛ばして遊んでいた。個性的な作品が出来上がり、子ども達の感性は素晴らしいと感動した。

### 子どもの声

- ・とてもたのしかった。 ・とても楽しく作ることができた。またやりたい。
- ・初めて作ってみて上手にできてよかったし楽しかった！

### 保護者からの声

- ・工作が大好きな息子と沢山作ることができた。また機会があれば参加したい。
- ・親子で楽しく工作を作る事ができた。シールをはるのが好きなのでたいくつな入院生活の中でこんなに楽しく遊べてよかった☆(^^)
- ・UFO を作り、子どもも親も一緒に楽しむことができた。きれいにシールを貼ることができ子供もうれしそうでした。まだまだたくさん作りたい様子だった。
- ・気分転換が出来ました。楽しかった。

### 病院関係者からの声

- ・参加を渋っていた小学生が、いざ作品を作って遊ぶと、とても楽しかったようで何度も繰り返し遊んだ。離床を促されていたので、遊んでいるうち自然に体を動かして、回復を早めると手助けにもなっていると感じた。
- ・置かれた材料に目を凝らし何を作ろうかとワクワクし、作りたいものを選んで黙々と手を動かし、表情は真剣そのものでほとんど声を発することもなく夢中、その様子に保育士が驚くほどだった。
- ・満面の笑みをみせて大満足している小学生の姿が印象的。

## ⑧ 国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国府台病院 「世界でひとつの万華鏡を作ろう！」

日時：2019年11月19日(火) 10:00~11:30

場所：院内学級小学校

参加者 13人

(子ども6人 施設関係者7人)

指導者：濱美幸 井澤智子 竹見麻衣子 早川良美

### ワークショップの内容

・六面万華鏡  
・ビーズストラップ



自己紹介後、一緒に準備することで緊張は解けていった。昨年もやった子が自分の描きたいものをプリントアウトして持っていて、取り掛かりも早く一心不乱にデザインを削り続けた。楽しみで昨夜寝れなかったという子、全面削りに挑戦、結晶が浮いていると表現した。最後は指導者とハイタッチ。得意なことの話をしたり、自分の夢を話したりリラックスして万華鏡、ストラップの作成に取り組んだ。万華鏡をのぞくと想像以上のできにみんな驚きと笑顔だった。



### 子どもの声。

- ・ストラップが楽しかった。
- ・万華鏡もストラップも上手に出来て、良かった、楽しかった。また、作りたいと思う。家族みんなや友人も交えて作りたい。
- ・手がつかれた
- ・万華鏡作りはすごく楽しかった。ゆびがいたかったけど、がんばった。またやりたい。
- ・きれいな万げきょうやストラップをつくれてとても楽しかった。そうぞうとちがくて少しびっくりした。ありがとうございました。

### 病院関係者からの声

- ・休憩もなく長時間活動する児童の様子から、題材の適切さを強く感じた。またこのことは、子ども劇場の皆様の支援方法にもよるところが大きかった。参加予定の保護者が来れなかったのは残念ですが、今後もこのような機会には、積極的にアナウンスしていきたい。
- ・長時間集中してひとつのことに取り組む経験を積むことができたこと、普段学校へ足が遠のきがちな児童も参加できたこと、万華鏡ストラップ双方とも完成できたことなどから QOL 向上につながると感じられた。

## ⑨ 千葉県市川児童相談所「ダンスワークショップ」

日時：2019年7月12日（金）10：30～11：30  
 場所：講堂  
 参加者 36人  
 （子ども30人 施設関係者6人）  
 指導者：安西真幸 安西千紗 中川香子 棚田純子

**ワークショップの内容**  
 『パプリカ』ストレッチ  
 「ゆずの『LOVE and PEACH』」いろいろなTを作ろう（一人で、二人やグループで）



### 子どもの声

- ・みんな楽しく“T”を作っていて私まで笑顔になった。
- ・Tを自分の体で作るのがとても楽しかった。女子できょだいなTをつくることが楽しかった。男子もトリプルTなどをつくっていてすごいと思った。ダンスは、こんなに楽しくておもしろいなあと思った。
- ・とても楽しかった。もっとノリノリで楽しくびったりきれいにおどれるといいなあ〜♪
- ・俺は昔からダンスが大好きだったので、今回のダンスがすごく楽しかった。
- ・そんなやるきがなかったが、まあちゃんとちいちゃんがいって、おもしろくて、はまった。
- ・ダンスが苦手な人でもおどれる様な簡単なダンスだった。すくにおぼえられた。

振り付けの表現がクルリンパー!!などと面白い表現で、フツツと声を出して笑いながら目を離さず、引きつけられてだんだん笑顔で大きな動きで踊った。「いろんなTを作ろう」と、まず一人で手や体を使って。次に二人で(1人の膝にもう一人が乗る男子)や集団で相談しあっていた。小学生女子は、床に寝転んで大きなT、中学生も二人で工夫していた。できたという満足感が見えた。幼児は音楽が鳴ると楽しそうに自由に動く子、先生の後ろから見回す子、時々、ガオッという手の動きを真似したり、体をゆすったり、その場の雰囲気を楽しんでいるみたい。

### 施設関係者の声

- ・初め、ダンスへの不安が強いのでは？と思っていたが、指導のすばらしさでどんどん子どもの表情や動きが変わっていくのがよくわかった。いつの間にか、子どもたちが一体化して興奮していた。
- ・子ども同志が簡単なやり取りでどんどんと創作してピラミッドの形や「Tの字」のような工夫をするよい時間だった。今回の経験を自分の自信や達成感になってくれるといいなと思う。

## ⑩ 千葉県君津児童相談所「体をつかっていっしょにあそぼう」

日時：2019年7月25日（木）13:30～14:3  
 場所：2F 会議室  
 参加者 31人  
 （子ども18人 施設関係者13人）  
 指導者：大潤弘幸 村井昌世 岡田泰子 鈴木佳子

**ワークショップの内容**  
 「色おに」「震源地は誰だ！」  
 「なりきりかくれんぼ」「ジェスチャー伝言ゲーム」



### 子どもの声

- ・かくれんぼのときはほんのうがともおもしろかった。またおおまさんとあそびたいな。
- ・スマホゲームばかりしていたので、またこのようなゲームをやりたいとおもった。
- ・ふだんの生活でもきょうのあそびをわすれないで生活しようとおもった。ありがとう。
- ・なりきりかくれんぼがたのしかった。一ばんおもしろかったのはだるまさんがころんだ。

中学生は、リーダーも決めた。「オニさんオニさん何色ですか？」と、幼児と小学生の元気な声が響く。2色や、クマ、水玉、しわしわと、発見が面白くて子どもたちはどんどん熱中した。ジェスチャー伝言ゲームのお題は「バナナ」。早いスピードで送っていたが、途中モンキーの動作を加えたところから内容が変化していき…エッ？エッ？エッ？わからなくなったが、次に送ったところで修正され、最後はバナナに戻った。全員で笑いこらげて終了した。

### 施設関係者の声

- ・心から楽しんでいて。皆と力を合わせてやる遊びが多く、子どもから積極的に回りの子やスタッフ、職員に声をかけている様子がみられよかった。
- ・一人一人の個性がみえた。素直な気持ちを表すことができたと思う。子どもが本来持っている力、あるべき姿を引き出して頂ける体験だった。施設は一体感が感じられにくい環境だが、「みんな仲間である」という安心感や所属欲求は満たされたと思う。
- ・QOL向上につながったと思う。生活の中で人間らしさが出てくると信じている。

## ⑪ 千葉県銚子児童相談所「アフリカンリズム&パーカッション」

日時：2019年7月26日（金）10:30~11:30  
 場所：大会議室  
 参加者 31人  
 （子ども19人 施設関係者12人）  
 指導者：BB モフラン ダウディ 典子 棚田純子

### ワークショップの内容

ライオンキング、どんぐりころころ、おもちゃのチャチャチャ、マ・メ  
 アフリカの国のこと、日本語とアフリカの言葉 タイコをたたく ダンス体験 バラード、アンコール曲ソーラン



最初は何が始まるのか心配、緊張の様子だったが、モフランさん、ダウディさん、典子さんの演奏や歌に表情が和らいできて体も動き出した。はじめてのアフリカの太鼓ワークにドキドキ。小さな子チームはかわいらしい猫の手にして一生懸命叩いて楽しそう。小学生・中学生チームは、少し照れながらモフランさんの「ハッピースマイル」のリードで笑顔がこぼれ、何度も「本番です」に「えーっ！」と驚いていた。中学生以上チームの男の子、難しいリズムも自然体で余裕を感じた叩き方に関心した。モフランさんたちとのハイタッチも子どもたちの心を解きほぐした。最後のダンスはみんな笑顔で踊りまくった。



### 子どもの声

- ・うたがとてもきれいだったよ、すごかったよ、うれしかったよ、またきてね、
- ・典子さんがずっとえがおで教えてくれたのでとてもやりやすかった。みんなもすごく明るくなれたと思う。楽しい音楽をありがとう。ダンスも楽しかった。
- ・何より心に残っているのは、実際に太鼓をたたいたこと。和太鼓と違って手でたたいたので、少し痛かった。でもモフランさんの教え方がわかりやすくて楽しく演奏することができた。ジョークも面白かった。



### 施設関係者の声

- ・子どもたちは本当に楽しそうだった。子どもたちが笑顔になってよかった。
- ・モフランさんたちはすごい！大人も楽しんだ。
- ・「こんな機会めったにないですから」一番踊りまくっていた先生でした。

## ⑫ 千葉市児童相談所「アフリカンリズム&パーカッション」

日時：2019年8月13日（火）10:30~11:30  
 場所：スポーツ広場  
 参加者 42人  
 （子ども32人 施設関係者10人）  
 指導者：BB モフラン ダウディ 典子 椎名好子

### ワークショップの内容

ライオンキング、どんぐりころころ、おもちゃのチャチャチャ、マ・メ  
 アフリカの国のこと、日本語とアフリカの言葉 タイコをたたく ダンス体験 バラード、アンコール曲ソーラン



モフランさんが「スマイル スマイル もっと大きな声で」と促すと一瞬大きな声になった。ダンスは先生方が一番前でノリノリ。

### 子どもの声

- ・ライオンキングの曲を演奏してくれた時、すごく迫力がある歌声でとても感動した。演奏するときに使っている楽器に触れることもできて、楽しくてとても良い経験になった。
- ・太鼓をたたく体験で、「ブタニクたべたいな」がとくにおもしろかった。アフリカンのミュージックのイメージが広がり興味を持った。
- ・「マライカ」すごく音色がきれい。「ライオンキング」の曲はものすごく雰囲気が出ていた。
- ・太鼓は力を入れて叩くのかと思っていただけ、優しくたたいたらいいい音が出ると聞いてビックリした。

小学生組は太鼓をたたく音色も力強く、超元気に「ニッポンチャチャチャ ニッポンチャチャチャ チバイナゲ アキハバラ ロール」それぞれ年齢に合わせたリズムに挑戦し楽しんだ。「アンコール！」と女子たちが「ライオンキング！」とリクエスト。女子たちはもううれしくて満足そうな顔。

### 施設関係者の声

- ・多動な子が多いが、ジャンベが鳴り響いた時やハーモニイが奏でられた時、動きが止まり聞き入っていたので、本物と出会うと心が動くんだなあと思った。
- ・普段職員に見せない表情を見せる一面もあり、私たちも勉強になった。いきいきとした顔からもQOLの向上につながったと思う。

### ⑬ 千葉県柏児童相談所「アフリカンリズム&パーカッション」

日時：2019年8月16日（金）13:30~15:00  
 場所：食堂  
 参加者 55人  
 （子ども41人 施設関係者14人）  
 指導者：B.B.モフラン ダウディ 典子 棚田純子

#### ワークショップの内容

ライオンキング、どんぐりころころ、おもちゃのチャチャチャ、マ・メ  
 アフリカの国の話、日本語とアフリカの言葉 タイコをたたく ダンス体験 パラード、アンコール曲ソーラン



#### 子どもの声

- ・私は音楽が好きなので、音楽の深さというものを教えていただいた。海外の方とでも音楽で分かり合えると思った。演奏や実際にやってみて音楽に感動。音楽は世界共通ですね!! 本当にありがとうございました。
- ・日本のほとんどは何をやるにも真剣で表情が暗い感じになっていることが多いけど、来てくれた人達は、演奏の時にすごく笑顔で何だか私も楽しくなった。私は日本の曲ばかりきいていたが、外国の曲を聴けて、世界にはいろんな曲があるんだなあと思い、さらに音楽が好きになった。
- ・「ぶたにく」「やきにく」「やきそば」のリズム、おいしそうだった。モフランさんの声も、ギター之音もとてもすてきだった。いろいろなリズムでおどったのが楽しかった。

(小学生)男の子から手拍子が起こり、ダンスは宙に体が飛んでいた。アンコールのソーランでも跳ねるように躍った。

(幼児と中学生以上)幼児が太鼓を一生懸命たたきモフランさんが「イエーイ！」とハイタッチするとニコニコ顔だった。中学生と職員チームが太鼓で「イノシシ」「食べたいな！」のリズムに挑戦。「頭・肩・腰 フリフリ」のダンスはみんなで盛り上がった。

#### 施設関係者の声

- ・普段見ない音楽に合わせて体を動かしたりリズムを楽しそうにとっている姿が見られたこと、とても楽しく子どもたちが過ごしていることが嬉しかった。
- ・保護所の生活の中で音楽に触れる機会はないので、色々な感性を育てるという意味でも、QOL向上に繋がっていると思う。ぜひまたきてください。

### ⑭ 千葉県東上総児童相談所「ダンスワークショップ」

日時：2019年8月20日（木）13:30~15:00  
 場所：多目的室  
 参加者 34人  
 （子ども24人 施設関係者10人）  
 指導者：安西真幸 安西千紗 棚田純子 中川香子

#### ワークショップの内容

アイスブレイク ストレッチ  
 『アラジン』の曲でダンス 座布団の魔法の絨毯 鏡を見立てて表の世界と裏の世界での自由表現



#### 子どもの声

- ・アラジンのおどりが楽しかった。さいしよの、あたまをつるつるするところが、すごくたのしかった。
- ・私はダンスがきらいだったけど、好きになった。またおどりたい。
- ・ひさしぶりにダンスをして、あらためてダンスは楽しいと思った。最初はすごく難しいダンスだったら、覚えられなくて皆においていられないかなど不安だったが、難しくなく簡単に覚えられて楽しかった。途中でペアになるところで一緒になった子と、今まで以上に仲良くなれた。私の良い思い出になった。

(幼児)魔法を掛けられた座布団が空飛ぶ絨毯になり、乗って飛び回った子は満面の笑顔。Tのポーズ・頭をナデナデ・シャキーンとジャンプ。みんな夢中になって踊っていた。(小学生以上)ダンスを習っていたという高校生女子が前に出て、もう一人の先生として生き生きと踊った。鏡の世界でのペアの動きでは「自由に表現していい、世界は無限」の言葉に表情も豊かに、様々なポーズが生まれた。通しのダンス。全員がピタッとポーズ、大満足な表情。

#### 施設関係者の声

- ・楽しく体を動かすことの大切さを改めて学ばせてもらった。
- ・終了後「魔法の絨毯楽しかったね」と言ったり、ワークショップの時には今一つ積極的になれなかった子が、後になって習った踊りを踊っていたり“楽しかった”という一時を与えていただけたことが何よりの成果であったと思う。
- ・体を使って表現することは喜びを伴い、普段消極的に見える子どもの意外な一面が解放されているようで、新鮮な驚きだった。笑い声が絶えず豊かな時間が持てたと思う。

## ⑮ 房総双葉学園 「夏休みだよ！みんなであそぼ！」

日時：2019年8月27日（火）13:00～14:30

場所：地域交流ホール

参加者 16人

（子ども12人 施設関係者4人）

指導者：大潤弘幸 村井昌世 綿貫のぼら 中川香子

### ワークショップの内容

いろんな座り方・いろおに・だるまさんがころんだ・しんげんち・協力しないおえかき・なりきりかくれんぼ



園庭で走りまわっていた子どもたちが「おおまくんだ！」「この人知ってる！」と言いながら賑やかに入場。昨年の事を覚えていた。日常はそれぞれのグループ単位で生活、一緒にやることは久しぶりでテンションが上がっていた。「いろんな座り方」で始まった。ゴリラ「ウホッ」、あぐら「(火が) ポッ」…だんだん早くなり大きい子も笑いながらフリをし、お腹を抱えて笑い転げていた。「かくれんぼ」に夢中になった。男子職員がシャツを脱いで隠す、二人羽織をやる、足の本数を増やすなどおもしろがってやる。ピアノも動かしキャンプ用品をどかして穴をつくりもぐり込む。先生方も「そこだめ！」と言わない。せまい会場が子どもたちの歓声でいっぱい。

### 子どもの声

- ・かくれんぼがたのしかった。だるまさんがころんだがたのしかった
- ・かくれんぼでゆうしょうした。またやりたい。
- ・たのしかったけど、Mくんがかんくれんぼでかくれてるのに、Mがしたでやだったよ。あそんでとてもたのしかったよ。ありがとう。きてね。・おおま うきうき

### 施設関係者の声

- ・始めの雰囲気や感想から子どもたちの楽しそうなようすが伝わってきた。来年度以降も是非来てほしい。
- ・子どもは、ふれあってもらい、貴重な機会に心を躍らせ喜びにあふれていたと思う。
- ・子どもたちがわくわくするような話の仕方や思わず笑顔になる遊び等、とても勉強になった。併せて職員も一緒に楽しく参加できた。またぜひ来て頂きたい。

## ⑯ 千葉県中央児童相談所 「見たこともない生き物をつくろう！」

日時：2019年9月20日（金）10:00～11:30

場所：集団治療室

参加者 34人

（子ども31人 施設関係者3人）

指導者：永野むつみ 大沢直 買場都明 宇野京子

### ワークショップの内容

封筒 紙袋 色とりどりの紙 テープ すずらんテープ 紙テープ・マスキングテープ等美しい材料を使って、私だけの「生き物」をつくる。



### 子どもの声

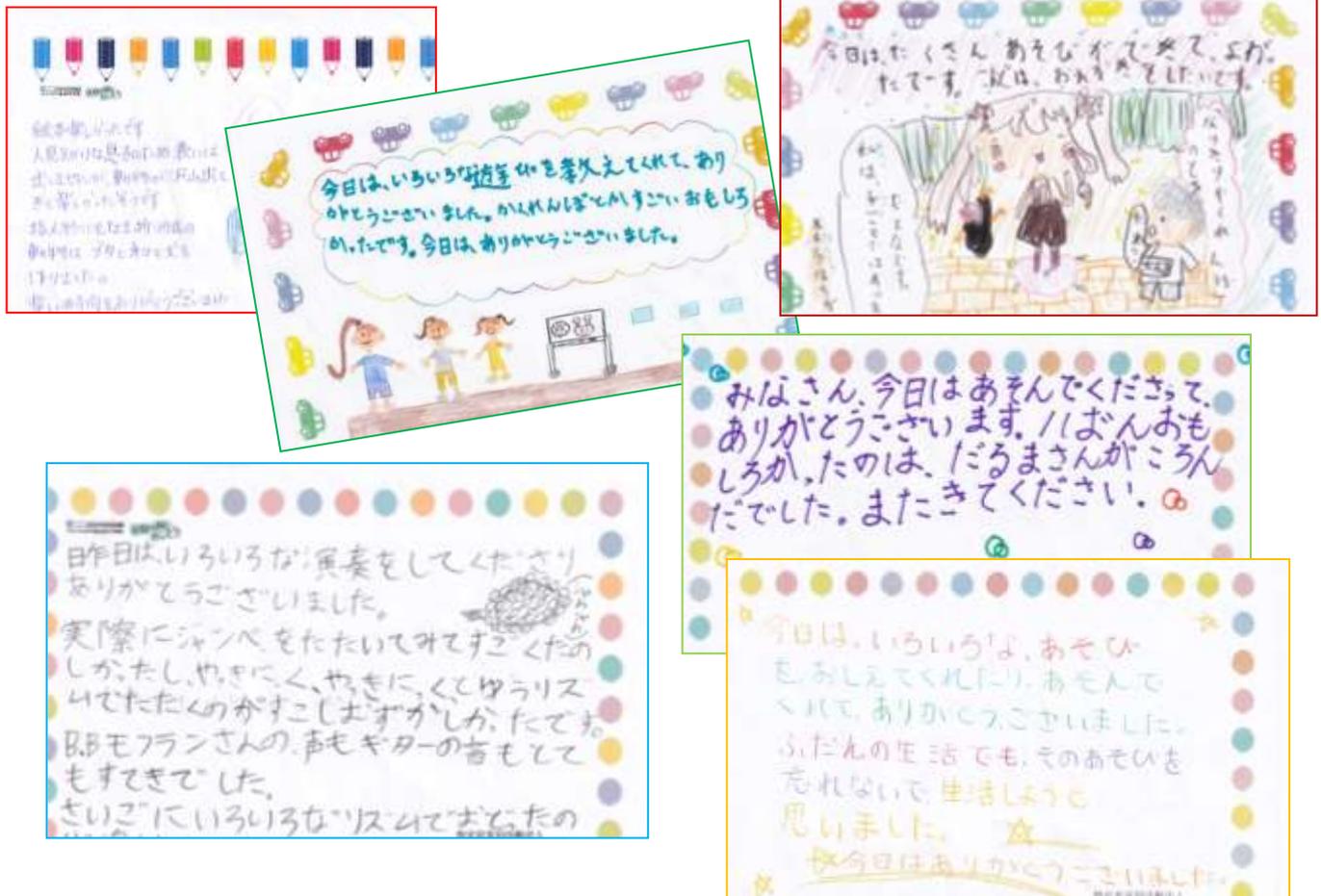
- ・いろんな事をおしえてくれてありがとう。ぼくは、こんなに楽しい気持ちになったのは、久しぶりだ。
- ・今日は自由に作れて楽しかった。
- ・ものすごく楽しかった。自分の想像力が豊かな人なんだな っと嬉しかった。
- ・みんなで一緒に楽しみながら何かを作ることを、久しぶりにできて楽しかった。
- ・紙一枚だけで芸ができるのは、すごく勉強になったし、おもしろいと思った。ぼくも先生たちのような発想力のすごい大人になりたいと思った。

カラフルな材料や様々な道具が美しく並べられ、部屋に入るなり、子どもたちは声をあげて喜んだ。子どもたちの発想は自由で色使いも様々、そのことがおもしろかったようだ。できた作品を高く上げて、唯一自作で私だけの生き物に自信をもっている表情を感じた。「こんな楽しい工作はないです」と女子が話した。自然な会話と笑顔があちこちでみることができた。

### 施設関係者からの声

- ・子どもたちの発想力豊かな色づかい、大きさ、長さに驚くばかりだった。子どもたちのまずやってみて、それをまた工夫して作る様子に感動するとともに、真剣に笑顔で進んで行っている姿がとても和やかで微笑ましく良い時間を過ごすことができた。
- ・保護所という生活の中で、今回のように自由に思うがままに取り組むことで、自分をしっかりと出し切っている様子を見ることができたので、子どもの生活のQOL向上につながったと思う。

## 子どもたちのアンケート



### 実施施設（児童福祉司 児童心理司 保育士 職員）のアンケートから

#### ◆QOL 向上の観点

- \* 「楽しい～、楽しい～」と言いながら、手を動かして工作をしていた。その気持ちが大切と感じた。
- \* 指導者が「何をしても OK。なんでも OK。好きにしてくれて OK」と言われたことで、子どもの自主性を尊重し、のびのびと好きなように表現できて楽しめた。
- \* 生演奏を全身で反応していた。この刺激は療育の上でも重要な機会であると思う。また、病室を出てみんなであれしい体験をする。それこそが QOL 向上そのものである。
- \* 指導者の受けとめる度量が大きく広く、こうした大人の存在も子どもたちにはうれしく、気分転換ができたとの声にもあるように、QOL 向上につながったと思う。
- \* QOL につながったと思う。今後の生活の中で、人間らしさが出てくれると信じている。
- \* 毎日が淡々と過ぎてしまいがちな施設で、生活の中にパワフルな新鮮な風を送ってくださり、子ども同士の会話や遊び方、かかわり方にとっても良い影響があったと感じている。
- \* お互いに気持ちをあわせて一体感が生まれていく、すごくいい時間になっている。遊びそのものが、非認知能力を育むと感じた。こうした遊びがある日常で、子どもたちの心身は柔らかくなっていくと思う。
- \* いろいろな感性を育てるという意味でも、QOL 向上につながった。
- \* 今回のように自由に取り組むことで、自分をしっかりと出し切っている様子を見ることができ、いきいきとした顔からも QOL の向上につながったと言える。

## 成果・評価

- ① 普段の生活の課題とニーズを把握し指導者を選び、遊びや体験ワークショップを提供した。実施個所を拡げ、8 病院 7 児童相談所 1 児童養護施設で計 16 回実施し、638 人（子ども 426 人 大人 212 人）が参加した。
- ② 子どもたちはダンスやパーカッションなど初めて出会う体験に心躍らせ、目の前に広がる色とりどりの工作の材料にわくわく感が一気に増した。指導者に褒められ認められて、子どもたちの顔がうれしきで紅潮し、自信を得ていく様子は感動的だった。アンケート 175 枚からは、楽しかった 108、嬉しかった 7、おもしろかった 19、またやりたい・また来てほしい 39、感動した・素敵 17 で、満足度はほぼ 100%だった。子どもが「自分の想像力が豊かだと思えてうれしかった」と、感想に書いてくれた。
- ③ 病院からの評価は、創造力が膨らみ発想豊かに工作に熱中することで、気持ちが高揚し自然に体を動かして、子どもたちの気分転換になり、回復を早める手助けになっている。また、治療だけでなく、楽しい思い出があることで日常も笑顔になり、会話が増え、前向きに生活できるようになり、「芸術的手法によるワークは、子どもの生活の QOL 向上に効果がある」との評価を得た。
- ④ 児童相談所と児童養護施設からは、アクティブに体を動かすワーク、創造的でアートな作品づくりワークが、子どもの感性にストレートに響いた。子どもたちの発想や表現を丸ごと受け入れる指導者の姿勢が、子どもたちの気持ちをつなげて一体感をつくり「みんな仲間だ」という安心感も創り出した。自分を出し切ること、仲間を感じたこと、笑い転げたこと等、QOL 向上になっているとの評価を得た。
- ⑤ 施設の職員やスタッフも子どもと大声で笑い、いっしょになって本気で遊んだ。そして子どもたちの普段では見せない姿やいいところをたくさん発見していた。
- ⑥ 実施した 16 か所すべてから再来を希望され、当団体への信頼と子どもたちから待たれている事業になってきている。次年度も要望に応え実施していきたい。



【コーディネーター】	市川淑江	宇野京子	大森智恵子	岡田泰子	買場都明	加藤香都代
	笠原直子	桑原信子	椎名好子	塩沢千秋	白鳥みゆき	鈴木佳子
	滝口淳子	多田優子	棚田純子	戸田綾	渡慶次康子	中村雪江
	中村幸恵	綿貫のぼら				



令和元年子どもゆめ基金助成事業

## 「病院や児童福祉施設にいる子どものQOL向上のためのあそびワークショップ体験」 報告書

発行日 : 2019年 12月 2日(月)

発行者 : 特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

発行所 : 特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-17-6 サンコート新千葉 102号

TEL : 043-301-7262 FAX : 043-301-7263

メールアドレス : kidchiba@lily.ocn.ne.jp

この報告書の内容を無断で引用・転載することはかたくお断りいたします